

## 運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

## 1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい 青葉		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

## 2. 開催日時・場所

日時	令和6年5月14日 16時半～17時	場所	小黒自治会館
----	--------------------	----	--------

## 3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
	利用者又は利用者の家族	参加なし
■■■■■	地域住民の代表者	民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	自治会長
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	美しが丘地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	すすき野地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	たまプラザ地域ケアプラザ ■■■■■

## 4. 活動状況報告

別紙(様式2～4)のとおりに
----------------

(裏面あり)

## 5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- 包括①：ご利用者様の写真を見ると、その嬉しそうな様子が伝わってくる。
- 包括②：地域と密接に関わって実施されている、他施設のバイオリンの演奏、地域との連携がうまいと感心している。
- 包括③：地域の方に受け入れられているので素晴らしい。5/20の駅前サロンが、地域の外に出られない高齢者を抱える家族の方などにゆいを紹介するだけでなく、認知症の方のを知っていただくきっかけとなるように頑張ってください。
- 包括④：以前から忙しい中でもレクリエーションが多い。とても和みます。娘さんと一緒にの外出も本人・ご家族にとって幸せだったと思う。
- 歯科医師：誤嚥性肺炎の患者さんが何回か窒息していたのに施設で共有していなかった裁判例がある。ヒヤリハットに関しては窒息事例をしっかり挙げるようにしてほしい。
- 咽込みがひどくなってきているという記録は必須。転倒と同様。
- 住民代表：「事故」というのはよく起こることなのかというのが、初めて参加して気になった。

## 6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

- ヒヤリハットについて： 情報をいただいた咽込み・窒息に限らず、今後も検討を継続する。
- 事故について： 施設としては行政報告にならないような軽微なものであっても「事故」として検討することで、大きな事故に繋がらないように今後も検討を継続する。ヒヤリハットも同様。
- ボランティアについて： 積極的に受け入れているわけではないが、今後、ご紹介があれば検討していく。
- 地域参加： 今までは地域の行事に参加することを中心としていたが、地域の方を招くことができるようにしていく。

## 7. 地域からの情報提供

- 包括： 1月に参加いただいたのは「一緒に楽しもう会」ではなく「アートを楽しもう会」。10月に開催するので参加してください。包括にボランティアをやりたいという方が来るので、受け入れていただけるならご紹介します。
- 地区社協： 毎月やっている駅前サロンで、5/20に施設紹介をお願いする。比較的元気な方がいらっしゃるので利用についての理解や施設を知っていただく機会となればと思う。社協では、フラワーアレンジメントやいちご狩りなどもやっており今後も情報提供をしていきます。

## 8. その他特記事項

運営推進会議開催に先立ち、施設の見学会を実施した。  
7月10月には施設での簡単なイベントを計画している。  
3月施設に隣接して障害者グループホーム開設。5月ホームページをリニューアル。

- ※ 会議は原則事業所内で行ってください。  
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

## 活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

## 1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい青葉 (1F)		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

## 2. 登録者の状況 平均要介護度は3.1となります。

登録者数(4月30日現在)	女性 7名	男性 1名	計 8名				
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	2名	2名	1名	2名

## 3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる~その一瞬を大切に~ 今年度目標: 「チャレンジ、成長、自律と自立」
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者が何かやってみたいと思える環境づくり</li> </ul> <p>【事業所と地域のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様のやりたいことを個別に実現していく</li> <li>・地域と関わる機会を設ける(例: 地域の行事にご利用者様と参加)</li> </ul> <p>【業務・職員について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化に向けてICTの活用</li> <li>・研修、勉強会の充実化(感染症・看取りケア・医療連携など)</li> <li>・スタッフの成長をサポート新しい役割を与えてみる</li> </ul>

## 4. 活動報告

<p>○社内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブメドレーEラーニングの研修実施</li> </ul> <p>研修内容 4月・・・「非常災害時の対応に関する研修」 5月・・・「倫理及び法令遵守に関する研修」</p> <p>○行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月 外出支援レク</li> <li>・3月 バイオリン演奏ボランティアレク</li> <li>・4月 お花見ドライブレク</li> </ul>
--

## 5. 健康管理

<p>コロナウイルス感染症対策として、スタッフはスタンダードプリコーションを意識し、マスク着用及び手指消毒の徹底を図っています。</p>
--

## 6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・1件(内行政報告1件) ヒヤリハット・・・1件</p> <p>&lt;事故&gt;</p> <p>①誤薬事故 2月7日10時頃 訪問看護師が居室にて使用する予定のないボルタレン坐薬の空き袋を発見。使用した職員に確認し、レシカルボン坐薬と間違えて挿肛したことに気が付く。</p> <p>&lt;ヒヤリハット&gt;</p> <p>①カテーテルの抜去の危険 1月14日9時頃 車椅子、尿バルーン使用の方。カテーテルが床に接触していた。引っ掛けたり絡んだりする恐れがあった。</p>
改善策	<p>&lt;事故&gt;</p> <p>①【原因】 同一利用者に使用する2種類の坐薬を、薬袋に薬名を記載した上で冷蔵庫内の利用者名記載のケースに入れて保管していたが、記載が分かりにくかった。 服薬のダブルチェックの際に、他の職員が他利用者の介助中のため、口頭で確認を行ったが、薬名についてまでしっかり確認できていなかった。</p> <p>①【対策】 坐薬は「便秘」「痛み」など用途別に、色分けしたラベルを貼って、一見して分かるようにした。 ダブルチェックの時に、必ず薬名を目視で確認することを職員に周知した。</p> <p>&lt;ヒヤリハット&gt;</p> <p>①【原因】 カテーテル管理の仕方について観察、注意不足があった。</p> <p>①【対策】 カテーテルがどのような状態になっているのか、ルートがねじれていないか等気を付け、バックやカテーテルの固定の位置等を適切管理できるよう学ぶ機会を増やしていく。</p>

## 7. 地域への情報提供

時間や人数等のルールを設け施設内で面会実施。ZOOMでのオンライン面会も継続して実施しています。今年の1月に地域ケアプラザと横浜市民ギャラリー共催の「一緒に楽しもう会」に参加させて頂きました。今年の10月にも開催予定とのことで小規模と共に参加させていただきたいと思っております。

## 8. その他特記事項

4月末にてパート職員が退職。6月1日より正社員1名がGHゆい青葉に異動予定。

## 活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

## 1. 基本情報

事業所名	グループホーム ゆい青葉 (2F)		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	辻 直哉	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

## 2. 登録者の状況 平均要介護度は2.6となります。

登録者数(4月30日現在)	女性 5名	男性 3名	計 8名				
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	2名	4名	1名	0名

## 3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる~その一瞬を大切に~ 今年度目標: 「チャレンジ、成長、自律と自立」
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・ご利用者が何かやってみたいと思える環境づくり 【事業所と地域のかかわり】 ・ご利用者様のやりたいことを個別に実現していく ・地域と関わる機会を設ける(例: 地域の行事にご利用者様と参加ご利用者様と参加) 【業務・職員について】 ・業務効率化に向けてICTの活用 ・研修、勉強会の充実化(感染症・看取りケア・医療連携など) ・スタッフの成長をサポート新しい役割を与えてみる

## 4. 活動報告

○社内研修 ・ジョブモデルEラーニングの研修実施 研修内容 4月・・・「非常災害時の対応に関する研修」 5月・・・「倫理及び法令遵守に関する研修」
○行事 ・2月 外出支援レク ・3月 バイオリン演奏ボランティアレク ・4月 お花見ドライブレク

## 5. 健康管理

コロナウイルス感染症対策として、スタッフはスタンダードプリコーションを意識し、マスク着用及び手指消毒の徹底を図っています。
---

## 6. 事故・ヒヤリハット報告

<p>内容</p>	<p>事故・・・2件(内行政報告1件) ヒヤリハット1件</p> <p>&lt;事故&gt;</p> <p>①落薬事故 3月9日12時15分頃、リビング床にビオスリー錠が落ちていた。確認したところST様の朝食後薬であった。主治医に報告し、様子観察の指示をうける。</p> <p>②離設事故 4月7日10時半頃、施設内にいるはずのKM様が道路から施設に向かって、職員の付き添いなく戻ってくるところを発見した。</p> <p>&lt;ヒヤリハット&gt;</p> <p>①離設 職員がご利用様を手引き歩行で玄関から出ようとした際、KM様が陰しい表情で声かけにも返答せず外に出してしまった。職員と一緒に施設周囲を散歩し、落ち着いた様子を確認した上で一緒に施設に戻った。</p>
<p>改善策</p>	<p>&lt;事故&gt;</p> <p>①【原因】 薬杯で服薬介助を実施しているが、薬杯だとうまく服薬できない場合があった。</p> <p>①【対策】 服薬方法について薬剤師に相談し、粉薬にするなど利用者の状態にあった方法を検討することとした。 服薬が上手くできなくなっている状況について、ヒヤリハットなどで、職員の気づきを共有し早目に検討できるように話し合った。</p> <p>②【原因】 帰宅願望強く、日中、フロアと玄関を行き来されている方。複数名の利用者の外出支援を実施中だったが、KM様は不参加だった。他の方がいないことで不安となった可能性がある。 施設に残っていた職員にKM様が不参加であることが伝わっておらず、KM様の不在について気づけなかった。</p> <p>②【対策】 他利用者不在時のご本人の不安へ配慮して、外出支援を計画する。事務所前のホワイトボードを活用して外出している利用者様がわかるようにチェック欄を設け、他部署の職員も含めて施設全体で情報共有できるようにしていく。 家族と相談し、施設から離れたらメッセージが発信されるGPS機能付の介護シューズを用意してもらおう。施設に届き次第活用していく。</p> <p>&lt;ヒヤリハット&gt;</p> <p>①【原因】 帰宅願望が強い方。不安な気持ちがなかなか解消できない。 ご本人の意欲の引き出していくことも課題。</p> <p>①【対策】 帰りたいではなく、施設内でできること、ここにいたいと感じてもらえるケアを提供できるよう話し合う。興味があることをいろいろ試していき楽しく穏やかに生活してもらえよう支援していく。</p>

## 7. 地域への情報提供

時間や人数等のルールを設け施設内で面会実施。ZOOMでのオンライン面会も継続して実施しています。今年の1月に地域ケアプラザと横浜市民ギャラリー共催の「一緒に楽しもう会」に参加させて頂きました。今年の10月にも開催予定とのことで小規模と共に参加させていただきたいと思っております。

## 8. その他特記事項

4月末にてパート職員が退職。6月1日より正社員1名がGHゆい青葉に異動予定。